



FAX:立川病院 薬剤科 042-523-3213

報告日： 年 月 日

保険薬局 → 薬剤科 → 主治医

がん化学療法 服薬情報提供書（トレーシングレポート）

担当医	科	先生 御机下	保険薬局 名称・所在地
患者ID:			電話番号:
患者名:			FAX 番号:
			担当薬剤師名: 印
この情報を伝えることに対して患者の同意を <input type="checkbox"/> 得た <input type="checkbox"/> 得ていない			
<input type="checkbox"/> 患者は主治医への報告を拒否していますが、治療上重要だと思われるので報告いたします。			

聞き取り日	: R 年 月 日 ()
対応者	: <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> その他
レジメン(抗がん剤):	_____
【服薬状況】	<input type="checkbox"/> 継続服用できている <input type="checkbox"/> 服用できていないことがある <input type="checkbox"/> 休薬している
理由:	<input type="checkbox"/> 飲み忘れ <input type="checkbox"/> 用法用量の理解不足 <input type="checkbox"/> その他()
	<input type="checkbox"/> 副作用()

緊急性のある疑義照会は通常通り電話にてお願いします。

Grade2 以上の症状(緊急性がなく次回の診察への情報提供)について記載をお願い致します。

主な症状	Grade2	Grade3
食欲不振	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化; 経口栄養剤による補充を要する	顕著な体重減少または栄養失調を伴う(例: カロリーや水分の経口摂取が不十分); 静脈内輸液/経管栄養/TPNを要する
悪心	顕著な体重減少, 脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分; 経管栄養/TPN/入院を要する
嘔吐	外来での静脈内輸液を要する; 内科的治療を要する	経管栄養/TPN/入院を要する
口腔粘膜炎	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍; 食事の変更を要す	高度の疼痛; 経口摂取に支障がある
便秘	緩下薬または浣腸の定期的使用を要する持続的症狀; 身の回り以外の日常生活動作の制限	排便を要する頑固な便秘; 身の回りの日常生活動作の制限
下痢	ベースラインと比べて 4-6 回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の中重度増加; 身の回り以外の日常生活動作の制限	ベースラインと比べて 7 回以上/日の排便回数増加; 入院を要する; ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量の高度増加; 身の回りの日常生活動作の制限
倦怠感	身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある, または元気がない状態	身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある, または元気がない状態
末梢神経障害	中等度の症状; 身の回り以外の日常生活動作を制限する	高度の症状; 身の回りの日常生活動作を制限する
手足症候群	疼痛を伴う皮膚の変化(角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症); 身の回り以外の日常生活の制限	疼痛を伴う高度の皮膚の変化(例: 角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症); 身の回りの日常生活動作の制限
高血圧	ベースラインが正常範囲の場合は収縮期血圧 140-159mmHg または拡張期血圧 90-99 mmHg; ベースラインで行っていた内科的治療の変更を要する; 再発性または持続性(≥24 時間); 症状を伴う >20 mmHg (拡張期血圧) の上昇または以前正常であった場合は >140/90 mmHg への上昇; 単剤の薬物治療を要する;	収縮期血圧 ≥ 160mmHg または拡張期血圧 ≥ 100mmHg; 内科的治療を要する; 2 種類以上の薬物治療または以前よりも強い治療を要する;
皮膚障害	中等度の症状; 身の回り以外の日常生活動作を制限する	高度の症状; 身の回りの日常生活動作を制限する

※Grade 評価は CTCAE ver5.0 に基づいて行っています。

有害事象・Grade	実際の症状の詳細

その他・病院への情報提供など

<注意>FAX による情報伝達は、疑義照会ではありません。緊急性のある疑義照会は通常通り電話にてお願いします。